

### 大地震から区民の命と財産を守る対策の抜本的な強化と教育行政の在り方を問う



横山 幸次  
(共産党)

大地震から区民の命と財産を守る対策の抜本的な強化を

問 地震の地域危険度を調査し公表した都に対し、責任を持って改善に向けた具体的な支援策実施を求めること。区も特別な体制を作り年次目標を持って取り組むこと。

答 都には、創設された「戸建て建替え助成事業」に加え、建築工事費に対する新たな補助制度を要請する。区では、建て替え促進や永久水利用の整備を進めている。

問 密集市街地整備事業推進のた

全対象世帯完了に向けた実施状況と制度拡充の検討状況を問う。

問 町会・自治会で申請を取りまとめる方法を新たに実施し、効果が表れている。事業の見直しは、申請方法の工夫と並行して検討作業を精力的に進めている。

問 タブレットパソコンの全児童生徒への導入方針は、区長の政策判断として予算化されたことで、教育委員会での十分な教育的議論が阻害されたのではないかと。

答 教育委員会による授業視察、教職員及び児童生徒へのヒアリングの実施、教育的な見地からの議論等を踏まえ、教育委員会として導入すべきとの結論に至った。

問 タブレットパソコンの全児童生徒への配備は、有効性、問題点など十分に検証すべき。教育はや

### 「市民後見人」養成強化と防災対策を問う



竹内 明浩  
(民主・市民)

成年後見制度の積極的活用の一環としての「市民後見人」養成強化を

問 成年後見制度の区における取り組みと実績を問う。

答 区における24年度の成年後見制度の区長申立件数は17件、福祉協議会が実施する法人後見は3件となっている。一般市民を後見人とする例は現在のところない。

問 今後、成年後見人の担い手である弁護士等専門職の不足が懸念されている。

答 今後、成年後見人の早期養成と活動支援の取組みが急務だと考えるがどうか。

答 市民後見人として活動するためには養成研修を受ける必要がある。

点から詳細に成果の検証を行い、全校導入に向けて取り組む。

問 学区の学齢簿の半分を受け入れ規模しかない日暮里地域の中学校問題は、緊急に解決すべき。また、少人数学級への移行を展望した施設整備を求める。

答 中長期的な展望に基づいて、新校開設や新校舎建設をしてきた。今後とも、適正な入学状況の把握に努め、施設整備に取り組む。

問 モデル事業では周到に取り組みを進めてきた。今後も様々な観

答 モデル事業では周到に取り組みを進めてきた。今後も様々な観

問 隅田川の水を利用した永久水

答 隅田川の水を利用した永久水利の整備を評価するが、同時に迅速な消火活動や延焼防止活動を行うために、水利近くに必要資器材も用意すべきと考えるがどうか。

問 永久水利は、隅田川からの水を貯水した場所に施設等を置くべきとの意見はそのとおりである。

答 今後、「永久水利整備活用推進協議会」でも、その意見を提出していく。

問 PTAによる設置委員会が行

答 PTAによる設置委員会が行

### 小中学校のタブレットパソコン導入と「(仮称)あらかわしたまち博」実現を問う



明戸 真弓美  
(自民党)

小中学校のタブレットパソコン導入を問う

問 全小中学校へのタブレットパソコン導入に際し、繰り返し学習することで学力が定着するドリル学習を利用できる環境を整えてはどうか。また、ドリル学習は、放課後の補習学習でも効果を発揮すると思われるが、見解を問う。

答 ドリル学習の履歴をタブレットパソコンに蓄積することで個々の理解度等に応じた学習を実践できる。各単元のまとめなど、授業時間帯だけでなく放課後の補充学習等に積極的に活用したい。

問 タブレットパソコン導入でデジタルの力を最大限活用し、小学生を対象とした、荒川区を再発見する「デジタルアート・コンテスト」を実施してはどうか。

答 デジタルアートは、従来の芸術の枠を超えた可能性を秘めており、教育活動に取り入れることで、表現力や創造力、情報活用能力の育成につながる。コンテスト等の実施も積極的に検討していく。

問 デジタル力と同時にアナログ力の育成に力を入れなくてはならない。感情表現を促したり、協力

答 デジタル力と同時にアナログ力の育成に力を入れなくてはならない。感情表現を促したり、協力

して問題解決する人間力を育てる「遊び」の普及のために、子どもたちが「遊び」を体験できる機会を作ってほしいと考えるがどうか。

答 子どもたちには、遊びを通して直接体験できる機会が重要である。情報化社会に通用する能力の育成や、自然や社会の現実に触れる直

問 「(仮称)あらかわ したまち博」実現に向けて

答 区の観光資源には多くの固有の魅力がある。地域の魅力を高め、内外に発信するため、様々な分野に関わる人たちが一堂に集まって、意見交換し、アイデアを出し合う

問 現在、観光振興でまちを盛り上げたという団体が様々な活動をしており、団体の相互連携により広がりのある活動にしている必要がある。提案の協議会もその手法の一つと考え、関係団体等の意見も聞きながら検討を進める。

問 各地で「まちを歩いて魅力を楽しむ」博覧会が開催されている。同様に区全体を博覧会会場に見立て楽しんでもらう「(仮称)あ

答 各地で「まちを歩いて魅力を楽しむ」博覧会が開催されている。同様に区全体を博覧会会場に見立て楽しんでもらう「(仮称)あ

かわしたまち博」を、区民による企画・実施で開催してはどうか。

問 公共機関が保有するデータを、利用可能な形で公開するオープンデータの先行的な取り組みが始まっている。区も観光振興の観点で、観光資源に関連する情報を公開し、そのデータを区民や区内企業に自由に活用してもらってはどうか。

答 公開したデータを区民や区内企業が自由に活用することは、区内企業の育成の観点からも有用と考える。いくつかの課題もあり、先進事例を参考に検討する。

問 若者・生活保護受給者・障害者の就労支援について

答 若者・生活保護受給者・障害者の就労支援について

問 副校長の多忙感解消のために

答 副校長の多忙感解消のために

問 副校長の多忙感解消のために

答 副校長の多忙感解消のために

問 副校長の多忙感解消のために

答 副校長の多忙感解消のために



平成26年荒川区議会第1回定例会は2月中旬に開会する予定です。